

# 新基地建設反対名護共同センターニュース

## 名護市長選 かつてない壮絶な総力戦に



3選目をめざす稲嶺ススム市長の総決起集会在23日、名護市内で開かれ約4000人が参加しました。集会には翁長雄志知事と南城市長選で初当選を果たした瑞慶覧長敏氏も駆けつけ激励挨拶し、大きな拍手に包まれました。

**次代を担う子どもに負の遺産を残さない**

稲嶺ススム市長は「1期目から子どもを政策の柱にしてきた。次代を担う子どもを育てる大人の責任として新基地は造らせない。負の遺産は絶対残さない」と強調しました。

実績・政策前面の対話・支持拡大で圧倒しよう  
相手の辺野古隠し、権力と金力、デマに反撃を



### 市議補選候補にアシトミ浩へり基地代表

市長選挙と同時に行われる名護市議補欠選挙に、へり基地反対協共同代表・アシトミ浩氏が立候補することが決起集会で発表されました。

★現局面の情勢の特徴/自民・公明が稲嶺市政奪還に向け権力と金力・デマ攻撃でかつてない壮絶な総力戦となっている。稲嶺ススム市長の実績と政策を名護市民1人ひとりに、特に30代40代の若い層にまで対話・支持拡大で訴えきれば勝利の展望を切り開くことができる。



民商が全商連太田会長迎え  
市長選勝利めざすつどい  
名護民主商工会は24日、名護市長選勝利をめざす新春のつどいを約80人の参加で開催(写真左)。

全商連の太田義郎会長がユーモアを交えて名護市長選で稲嶺ススム現市長を勝利させることの意義を訴えました。拍手と歓声で迎えられた稲嶺ススム市長とアシトミ浩市議補選候補は、それぞれ「市民のくらしを守り、新基地は絶対造らせない」と決意を表明。やんばる統一連の吉田務代表が情勢報告し、全員で奮闘する決意を固めました。

## へり基地反対協が韓国の「正義平和賞」受賞

### “非暴力で平和と自然、自尊心を守る”

へり基地反対協は22日、韓国の池学淳(チ・ハクスン)正義平和賞を受賞し、ゲート前で授賞式が行われました。韓国から同基金の代表9人が訪れ、へり基地反対協の安次富浩代表に賞牌とメダル、賞金が手渡されました。チ・ハクスン正義平和基金の受賞理由は「平和・自然・自尊心を守るために、非暴力で戦争につながる新基地建設に20年以上も粘り強く反対してきた」ことが評価されたものです。

賞牌とメダルを受け取った安次富代表は「国際社会に沖縄のたたかいが評価され喜んでいきます。韓国の皆さんとも連帯し、基地のない平和な東アジアをつくるためにともに力を合わせていきたい」と話しました。

